



日本災害情報学会

第22回学会大会プログラム

令和2(2020)年11月28日(土)・29日(日)

会場：オンライン

◎11月28日(土)

9:45-10:00	開会式	[RoomA およびB]
10:00-11:10	口頭発表(セッション1)	[RoomA およびB]
11:20-12:30	口頭発表(セッション2)	[RoomA およびB]
13:30-14:40	口頭発表(セッション3)	[RoomA およびB]
14:50-16:00	口頭発表(セッション4)	[RoomA およびB]
16:10-17:35	口頭発表(セッション5)	[RoomA およびB]
18:00-19:30	意見交換会	[Remo]

◎11月29日(日)

10:00-12:15	シンポジウム「「避難」のあるべき方向を考える(仮)」	[RoomC]
12:15-12:30	閉会式	[RoomA およびB]

【参加費など】

- 大会・シンポジウム参加費：本年度はオンライン開催、予稿集の発刊がないため、無料
- 意見交換会：本年度はオンライン開催のため、無料

なお、意見交換会は参加者数の制限があるため、学会員および口頭発表の登壇者・共著者、もしくは学会員より紹介を受けた学部生・大学院生に限ります。一般聴講者のご参加はご遠慮いただきますので、ご容赦ください。

【学会に参加する全員の方に対する諸注意】

- 今年度の学会大会は、Zoomによるオンライン開催になります。参加の際は、Zoomクライアントをご自身のPC等にインストールしてください。
- すべての参加者(発表者、聴講者を含む)は指定するURLから参加登録してください。登録後に、承認メールおよびRoomA, B, CのミーティングURLが届きます。それぞれのRoomで入室許可は9時を予定しています。なおURLは後日お知らせいたします。
- もし、「ホストがこのミーティングを開始するまで待機しています」などと表示された場合は、そのまま開始までしばらくお待ちください。
- 参加時は、Zoom上の表示名は次のように設定してください：
 - Zoomウィンドウの参加者リスト内のご自身の項の[詳細]→[名前の変更]で設定可能です。
 - 基本的に表示名は、「氏名@ご所属」にしてください。例) 災害太郎@情報大学
 - 司会の方は、氏名の前に「司会者」を付けてください。例) 司会者 災害太郎@情報大学

- 発表者の方は、氏名の前に発表番号を付けてください。なおその際は、英字・数字部分は半角・1桁表示にしてください。
例) A1-1 災害太郎@情報大学
- マイクとカメラが正しく設定されているか確認してください：
 - Zoom ウィンドウのマイクアイコン、カメラアイコン脇の ^ をクリックで、各設定を確認できます。
- 発表時には、司会・発表者以外は、全員マイクをミュートにしてください：
 - Zoom ウィンドウのマイクアイコンをクリックで、ミュートの on/off を切り替えられます。
- 質疑時に発言したい場合、参加者ウィンドウの「手を挙げる」機能で意思表示してください。
 - →司会者から指名されたら、ミュートを解除し、発言を開始してください。
- 発言を終了したら、「手を挙げる」機能を解除し、再びマイクをミュートにしてください。

【口頭発表される方の諸注意】

- 発表は Zoom の画面共有を使ったプレゼンテーションです。発表者についてはビデオ機器等の動作確認をしますので、セッション開始の 10 分前には入室ください。その後、必ず画面共有と音声テストを行ってください。司会より指示します。
- 発表 1 件につき、12 分発表+3 分質疑です。各セッションの最後に 10 分の総合討論の時間を設けます。なお、時間経過は以下のタイミングでお知らせしますが、念のため、お手元等でも計測をお願いします。
 - 9分 1 鈴
 - 12分 2 鈴（発表終了）
 - 15分 3 鈴（質疑応答終了）
- 質疑応答中は、画面共有のまま（スライドが見える状態）をお願いします。
- 発表者の際は、スライドショーのレーザーポインタ機能をお使いください。
- お困り、緊急時の際は、以下まで連絡をください。
 - hiroie@city.t.u-tokyo.ac.jp

【司会の皆様へのお願い】

- 司会の皆様を共同ホストにします。実行委員会メンバーも共同ホストとなり、サポートいたします。
- セッション内で欠席者がいた場合、繰り上げずに 15 分空けてください。なお、前のセッションに欠席者がいるなどして、時間が早く終わっても、次のセッションの開始時間は予定通りで行って下さい。
- 学会大会の実行委員が以下のタイミングでタイムキーパーいたしますが、念のためご自身でも計測をお願いします。
 - 9分 1 鈴, 12分 2 鈴（発表終了）, 15分 3 鈴（質疑応答終了）
- 司会進行は以下の手順で行ってください。
 - 発表者にスライド共有を促してください
 - 発表者がスライドの共有中、発表者の紹介を手短に行ってください（氏名、所属等）
 - （発表者はスライド画面共有して発表）
 - （大会実行委員会メンバーが終了時間の予告）
 - 質疑応答では「参加者一覧」で「手を挙げている」人を指名してください。
 - 質疑が終わったら発表者に画面共有解除の依頼をしてください。
- お困り、緊急時の際は、以下まで連絡をください。
 - hiroie@city.t.u-tokyo.ac.jp

●発表スケジュール（簡易版）

11月28日	RoomA				RoomB			
	時間	発表者数	テーマ	座長	時間	発表者数	テーマ	座長
セッション1	10:00-11:10	4	水害（1）	大原美保	10:00-11:10	4	位置情報	川向肇
セッション2	11:20-12:30	4	水害（2）	中村 功	11:20-12:30	4	地震・津波	永松伸吾
セッション3	13:30-14:40	4	水害（3）	宇田川真之	13:30-14:40	4	住民と防災	上村靖司
セッション4	14:50-16:00	4	コロナ	矢守克也	14:50-16:00	4	防災教育	児玉真
セッション5	16:10-17:35	5	復旧・復興と可視化	廣井悠	16:10-17:35	5	災害対応	佐藤良太

●発表スケジュール（詳細版）

Room A

11月28日（土）午前①

A1 水害（1）（座長 大原美保） 1日目 10:00～11:10

A1-1 危機感が伝わるテレビ放送を考える

～令和元年台風19号の被災地住民調査から～

入江 さやか（NHK放送文化研究所 メディア研究部）

A1-2 災害時における地図情報の活用と課題等について

-令和2年7月豪雨におけるISUTとしての活動を通じて-

竹 順哉（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付）

佐藤 良太（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付）

後藤 啓人（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付）

荻野 太一（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付）

風見 東明（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付）

西山 直人（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（防災計画担当）付）

A1-3 近年の記録的短時間大雨情報について その2

－災害発生率等から見たその役割－

向井 利明（名古屋地方気象台）

牛山 素行（静岡大学 防災総合センター）

A1-4 水害対応ヒヤリ・ハット事例集（地方自治体編および新型コロナウイルス感染症への対応編）の作成

大原 美保（土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM））

栗林 大輔（前・土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM））

藤兼 雅和（土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM））

11月28日(土) 午前②

A2 水害(2)(座長 中村功) 1日目 11:20~12:30

A2-1 水害時の対応状況と水害避難に関する意思決定構造の関連分析

吉井 健太(群馬大学大学院 理工学府環境創生理工学教育プログラム)

金井 昌信(群馬大学大学院 理工学府広域首都圏防災研究センター)

A2-2 大規模河川下流域の水害進展に伴う避難行動・情報取得の変化とその背景

— 令和元年東日本台風水害調査 —

若月 泰孝(茨城大学 理工学研究科(理学野))

木村 理徳(茨城大学 理学部)

伊藤 哲司(茨城大学 人文社会科学部)

田中 耕市(茨城大学 人文社会科学部)

大塚 理加(防災科学技術研究所 防災情報研究部門)

臼田裕一郎(防災科学技術研究所 災害過程研究部門)

A2-3 平成30年7月豪雨から2年後の被災地住民の防災意識

— 倉敷市真備町岡田・辻田地区住民意識調査より —

阪本真由美(兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)

小山 真紀(岐阜大学 流域圏科学センター)

松多 信尚(岡山大学大学院 教育学部)

平岡 敦子(倉敷市立短期大学 保育学科)

A2-4 2019年台風19号災害における災害情報の伝達と住民の対応

— 長野市及び本宮市における住民アンケート調査から —

中村 功(東洋大学 社会学部メディアコミュニケーション学科)

中森 広道(日本大学 文理学部社会学科)

保科 俊(東洋大学大学院 社会学研究科)

11月28日(土) 午後①

A3 水害(3)(座長 宇田川真之) 1日目 13:30~14:40

A3-1 合意形成への活用を考慮した浸水深図作成・更新における課題分析

平子 遼(京都大学大学院 情報学研究科社会情報学専攻)

畑山 満則(京都大学 防災研究所巨大災害研究センター)

A3-2 水害避難のための多様な情報提供の必要性に関する考察

・ 東海豪雨水害から20年を契機とした調査 ・

倉田 和己(名古屋大学 減災連携研究センター)

荒川 由貴(名古屋都市センター)

A3-3 豪雨災害における人的被害ポテンシャルの推定の試み

本間 基寛(日本気象協会 社会・防災事業部)

牛山 素行(静岡大学 防災総合センター)

- A3-4 携帯人口データによる警戒期の人口動態抽出の試み
～令和2年台風第10号襲来時の時例から～
宇田川真之（防災科学技術研究所）

11月28日（土）午後②

A4 新型コロナウイルス（座長 矢守克也） 1日目 14:50～16:00

- A4-1 新型コロナウイルス感染症流行下における住民の避難に対する意識
作間 敦（NPO 法人 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
松尾 一郎（NPO 法人 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
- A4-2 国士舘大学における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行を踏まえた防災教育の新たな取り組み
月ヶ瀬恭子（国士舘大学 防災・救急救助総合研究所）
山崎 登（国士舘大学 防災・救急救助総合研究所）
- A4-3 新型コロナウイルスへの企業の対応とBCPや危機管理の言葉の定義の混乱防止の必要性
指田 朝久（東京海上日動リスクコンサルティング株式会社）
- A4-4 「アフター・コロナ」／「ビフォー・X」
矢守 克也（京都大学 防災研究所巨大災害研究センター）

11月28日（土）午後③

A5 復旧・復興と可視化（座長 廣井悠） 1日目 16:10～17:35

- A5-1 経済復旧を考慮したインフラ等の「事前復旧計画」策定のための基礎調査
－「発災からのタイムライン（PDLs：Post-Disaster-timeLines）」に注目して－
松原 悠（京都大学大学院 情報学研究科社会情報学専攻）
矢守 克也（京都大学 防災研究所）
- A5-2 地方自治体の巨大災害からの回復に必要な要素の検討
－「普遍化」「越境」「連携」に着目した基礎的分析－
寅屋敷哲也（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
松川 杏寧（防災科学技術研究所 災害過程研究部門）
高原 耕平（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
佐藤 史弥（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
楊 梓（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
木作 尚子（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
河田 慈人（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
高岡 誠子（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
ピニエイロアベウタイチコンノ（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）
有吉 恭子（吹田市 危機管理室）
藤原 宏之（伊勢市 危機管理課）

中林 啓修 (国土舘大学 防災・救急救助総合研究所)

A5-3 ライフログにより災害ハザードをタイムラインで可視化する「SOL: Safety of Life」アプリの開発
池田 真幸 (防災科学技術研究所)

A5-4 事業継続戦略立案を目的とした企業間取引の可視化に関する考察
磯打千雅子 (香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター)
五十嵐孝浩 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
寺谷 尚子 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
田中 絢子 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)

A5-5 機械学習を用いた災害連関図の自動作成手法の検討
廣井 悠 (東京大学大学院 工学系研究科)
坂平 文博 (株式会社構造計画研究所)

Room B

11月28日(土) 午前①

B1 位置情報(座長 川向肇) 1日目 10:00~11:10

B1-1 統合防災情報システム AEDGiS の開発
-システム構想と地盤データベース整備-
濱田 俊介 (応用地質株式会社 地震防災事業部)
小山 雅人 (旭化成ホームズ株式会社)
先名 重樹 (防災科学技術研究所)
藤原 広行 (防災科学技術研究所)

B1-2 近畿地方における 500kV 送電用鉄塔の分布と土砂災害リスクの検討
橋富 彰吾 (名古屋大学 減災連携研究センター)
寅屋敷哲也 (ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)
中林 啓修 (国土舘大学 防災・救急救助総合研究所)
奥村与志弘 (関西大学 社会安全学部)
河田 惠昭 (関西大学 社会安全学部)

B1-3 UAV の LiDAR による山崩れ現場の定点観測と浸食量の測定
松浦 孝英 (中部大学大学院 工学研究科)
佐藤 至弘 (株式会社テラ・ラボ)

B1-4 地域の災害レジリエンス向上のための人的被災可能性情報の提供に関する一考察
川向 肇 (兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科・社会情報科学部)
有馬 昌宏 (兵庫県立大学)

11月28日(土) 午前②

B2 地震・津波(座長 永松伸吾) 1日目 11:20~12:30

- B2-1 南海トラフ地震の「臨時情報」に関する防災教材の開発
～防災ゲーム「クロスロード：黒潮町編」の実践～
杉山 高志（京都大学 防災研究所）
矢守 克也（京都大学 防災研究所）
- B2-2 首都直下地震に関するイメージの変化：自由記述結果からみるドラマ「パラレル東京」の効果
安本 真也（東京大学大学院 学際情報学府）
河井 大介（東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター）
齋藤さやか（東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター）
関谷 直也（東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター）
- B2-3 災害映像アーカイブと被写体の肖像権処理に関する考察
～「阪神淡路大震災 取材映像アーカイブ」を例に～
木戸 崇之（エービーシー・リブラ 制作部）
- B2-4 臨海工業地帯における津波安全確保計画の作成：尼崎鉄工団地協同組合での実践
永松 伸吾（防災科学技術研究所）
鈴木 進吾（防災科学技術研究所）

11月28日（土）午後①

B3 住民と防災（座長 上村靖司） 1日目 13：30～14：40

- B3-1 台風時のWebアクセス分析からみる防災気象情報の伝え方に関する研究
宮内 玲佳（日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部）
鈴木 靖（日本気象協会）
- B3-2 地域メディアと住民協働によるワークショップを活用した防災情報発信の試み
大山 武人（NHK 大津放送局放送部）
- B3-3 物語形式による災害情報提示の提案
—災害発生のリアルティ—
野々山秀文（セコム株式会社 IS 研究所）
- B3-4 協働除雪を通じた地域の主体性涵養過程に関する考察
上村 靖司（長岡技術科学大学）

11月28日（土）午後②

B4 防災教育（座長 児玉真） 1日目 14：50～16：00

- B4-1 豪雨時土砂災害避難体験 VR による防災教育
土田 孝（広島大学 防災・減災研究センター）
橋本 涼太（広島大学 防災・減災研究センター）

内田 龍彦 (広島大学 防災・減災研究センター)
山中 勝司 (東広島市消防局)
和泉 公明 (東広島市消防局)
川崎 梨江 (比治山大学短期大学部 総合生活デザイン学科)

B4-2 児童を対象とした防災に関する体験型学習の教育効果と計測手法の検討

多賀谷真優 (群馬大学 理工学府環境創生理工学教育プログラム)
金井 昌信 (群馬大学 理工学府広域首都圏防災研究センター)

B4-3 都市部沿岸人口密集地における避難シミュレーション

ー図上避難訓練「DIG&クロスロード ディクロ」ー
曾川 剛志 (兵庫教育大学大学院連合 学校教育学研究科後期博士課程)

B4-4 「主体的・対話的で深い学び」を実現するICT防災教育教材の開発

児玉 真 (アイ・ディー・エー 社会技術研究所)
桑沢 敬行 (アイ・ディー・エー 社会技術研究所)
山口弥那子 (アイ・ディー・エー 社会技術研究所)
小島 彰吾 (アイ・ディー・エー 社会技術研究所)
片田 敏孝 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
太田 直樹 (静岡県 中部地域局)
井倉 基 (静岡県 中部地域局)

11月28日(土)午後③

B5 災害対応(座長 佐藤良太) 1日目 16:10~17:35

B5-1 災害現場で有効に機能するICT活用の在り方とは

-「避難所・地域支援拠点アセスメント」の開発と実践-
青木志保子 (国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター)
田村 太郎 (ダイバーシティ研究所)
豊倉 幹人 (国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター)
井上 絵里 (国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター)

B5-2 航空写真を用いた画像認識による被害認定業務の迅速化

藤田 翔乃 (京都大学大学院 情報学研究科)
畑山 満則 (京都大学 防災研究所)

B5-3 有明海・八代海沿岸における学校・幼保施設・福祉施設での災害対応に関する実態調査(速報)

五島 朋子 (東京大学 地震研究所)
金井 純子 (徳島大学)

B5-4 1923年関東大震災時、東京市内の公設バラックは市内残留家屋喪失者の何割を収容できたか?

武村 雅之 (名古屋大学 減災連携研究センター)

B5-5 ISUT(Information Support Team)の運用と今後の取り組み

佐藤 良太 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (防災計画担当) 付)
竹 順哉 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (防災計画担当) 付)
荻野 太一 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (防災計画担当) 付)
後藤 啓人 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (防災計画担当) 付)
風見 東明 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (防災計画担当) 付)
西山 直人 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (防災計画担当) 付)